

令和2年5月9日

厚生労働副部長  
畦元将吾様

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
会長 田中 宏

## 新型コロナウイルス対応に関する政府への提言

平素は、本会の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

現在、新型コロナウイルス罹患患者を受け入れている病院の医師をはじめ、診療放射線技師や看護師などのメディカルスタッフは極限の状態です。仕事をして、「いつ自分が感染するか」「自分の家族に感染をさせてはいないか」という精神的な不安を抱えながら日々新型コロナ患者の対応を行っています。

医療スタッフが感染すると救急、手術、外来などの診療を病院は全て停止することとなります。

また、常に感染のリスクを抱えコロナ患者と向き合う医療スタッフにとって命綱と言えるPPE（個人用防護具）が底を突きかけています。これらPPEは保険点数に反映されませんので、病院の持ち出しとなります。

画像検査においては、CT、ポータブル撮影、エックス線撮影など、感染患者（疑いを含む）を撮影した場合、撮影は2人以上の診療放射線技師で行い、さらに検査室や装置の消毒を入念に行うため業務効率は著しく低下します。

このような状況の下、500床クラスの病院でも赤字は免れず、その結果、給与所得減額となりスタッフのモチベーション維持にも支障が出かねません。

このたび、政府の寛大なるご対応により企業や個人事業主への給付政策がなされていますが、経済状況においては病院も一般企業と同じ局面に陥っています。

以上の観点から以下の政策を提言致します。

1. 新型コロナ感染患者の入院受け入れや感染疑い患者の検査点数など、保険請求額の増額をお願い致します。
2. 新型コロナ患者受け入れ病院に対して、一般企業と同様に国からの補助をしていただき、医療スタッフの生活保障をお願い致します。
3. 新型コロナ危険手当の支給を制度としてお願い致します。
4. 新型コロナ患者受け入れ病院に対して、PPEの優先配布や購入補助をお願い致します。（N95マスク、サージカルマスク、防護服、アルコールなど）

医療スタッフは今、使命感でこの国難に立ち向かっています。この国難を乗り越えるために、医療スタッフ本人と家族の命を守り、生活を守ることを切にお願い申し上げます。

## 第 33 回埼玉県診療放射線技師学会の Web 開催について

大会長 田中 宏  
 実行委員長 今出 克利

2020年3月1日(日)に大宮ソニックシティで開催予定であった第33回埼玉県診療放射線技師学会は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響により延期となっておりました。本会の学術委員会および理事会で協議した結果、Webを利用したオンライン上での開催が決定致しました。そこで、現在決定していることについて取り急ぎご案内致します。ぜひ、多くの皆さまのご参加をお願い致します。

### 記

日 時：2020年9月27日(日)

参加費：会員500円、賛助会員500円(今回限りの特別料金)

非会員3,000円、学生無料

※埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会もしくは各都道府県の診療放射線技師会の会員であれば会員とします。

内 容：一般演題、特別講演、シンポジウム、ブラッシュアップセミナーなど

(一部プログラムの内容に変更があります)

その他：参加登録方法やログイン方法など、詳細が確定しましたら、埼玉県診療放射線技師会ホームページにてお知らせ致します。

以上